

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

① 満期保有目的の債券

移動平均法による原価法を採用している。

② その他の債券

時価のあるもの…決算日の市場価格に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

時価のないもの…移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準および評価方法

先入先出法による原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)を採用している。

(3) 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

定率法を採用している。ただし、建物については定額法を採用している。

② 無形固定資産

定額法を採用している。

(4) 引当金の計上基準

① 退職給与引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(5) リース取引の処理方針

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(金額:千円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000	—	—	10,000
特定資産				
在校生会費積金	313,016	1,168	79,742	234,443
公益事業基金				
育英奨学基金	121,921	646	3,987	118,579
学術教育助成基金	44,200	10,183	2,900	51,483
国際交流基金	26,738	10,055	900	35,893
スポーツ振興基金	24,217	10,306	4,635	29,888
文化振興基金	35,816	13,597	5,608	43,805
公益事業基金計	252,894	44,787	18,031	279,651
退職手当引当資産	1,606	250	0	1,856
減価償却引当資産	2,642	1,931	0	4,573
小計	570,159	48,137	97,773	520,524
合計	580,159	48,137	97,773	530,524

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(金額:千円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000	(10,000)	—	—
特定資産				
在校生会費積金	234,443	—	—	(234,443)
公益事業基金				
育英奨学基金	118,579	—	(118,579)	—
学術教育助成基金	51,483	—	(51,483)	—
国際交流基金	35,893	—	(35,893)	—
スポーツ振興基金	29,888	—	(29,888)	—
文化振興基金	43,805	—	(43,805)	—
公益事業基金計	279,651	—	(279,651)	—
退職手当引当資産	1,856	—	—	(1,856)
減価償却引当資産	4,573	—	(4,573)	—
小 計	520,524	—	(284,224)	(236,299)
合 計	530,524	(10,000)	(284,224)	(236,299)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(金額:千円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
有形固定資産			
建物	4,837	781	4,056
什器備品	1,324	475	849
合 計	6,162	1,257	4,905
無形固定資産			
ソフトウェア	5,852	3,316	2,536
固定資産 合計	12,015	4,573	7,441

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(金額:千円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の 当期末残高	債権の 当期末残高
未 収 金	244	0	244
貸 付 金	105,936	0	105,936

8. 保証債務等の偶発債務

該当なし

9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳場価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳場価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(金額:千円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
国債 8銘柄	103,985	107,026	3,040

10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当なし

12. 関連当事者との取引内容

該当なし

13. 重要な後発事象

該当なし